

地域材を使う

木づかいのまち

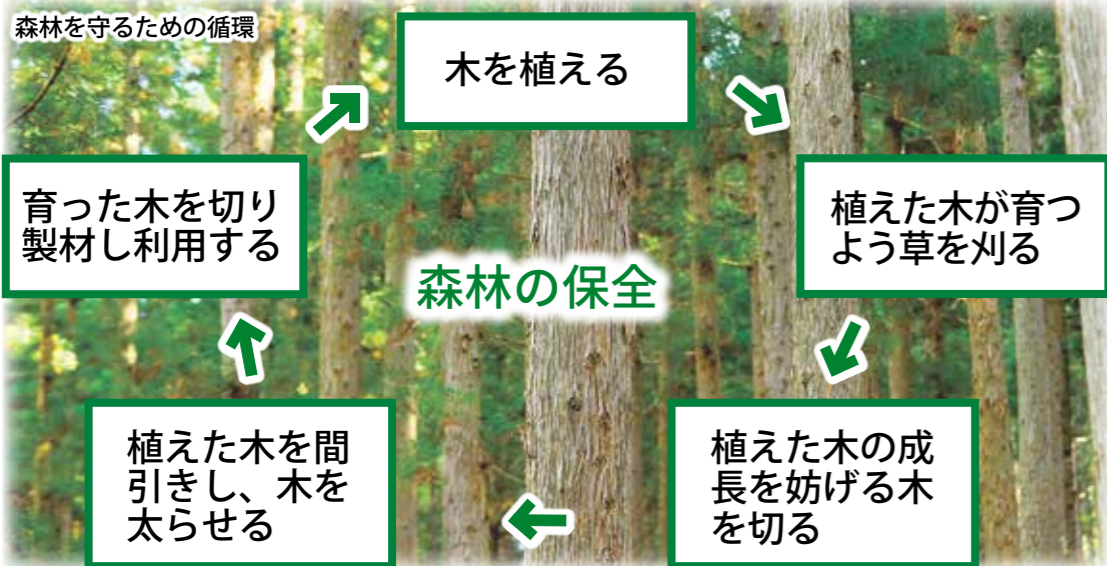
もりおか

盛岡の森林面積は市域の73%を占め、豊かな水と自然を育てています。その中で、戦後に植林した樹木が成長し、木材として利用できる時期を迎えています。森林を守るために、

木を切り、地元で「地域材」として消費し、また新たに植林をすることの大切さや、地域材を使う魅力などについて紹介します。
【表紙写真左上：赤松・右下：ナラ】

木を使うことが森林を守る

森林には、きれいな水を蓄えるだけでなく、土砂災害の防止や動植物の生態系保存などの大切な機能があり、その保全のために下記の循環が必要となります。



林業は散髪に似ているところがあります。時には坊主刈りになりますが、また髪を生やし整えるように、より良い状態にするために木を切り整えます。岩手県の場合、その過程で出る木材は、地元の人たちが新築やリフォーム、店の内装などに利用するのに適した量です。また、その需要が現在の倍に増えたとしても、岩手の森林は対応するだけの広さがあります。

盛岡は全国でも珍しく、地域材を使いたいと思えばすぐに使えるシステムが出来上がっている地域です。地域材を使う人が増えていけば、森林の整備が進み、ひいては森林を守るという好循環につながります。「せっかく木を使うなら地元のもの。」こういった意識が市民にもっと広がってほしいですね。



岩手大農学部 山本信次教授

地元の木を地元で使う

盛岡で育った木で家を立てる——。皆さんは考えたことがありますか？「高額になる」「他の高級材には及ばない」と思うかもしれませんが、そんなことはありません。地元の木材である地域材の利用促進を先頭に立って進める3人に、その良さなどを聞きました。

岩手県森林組合連合会 阿部 慎也さん



製材所と地元の工務店や設計士のつなぎ役。地域材の在庫確保と今どんな木が市場にあるかの情報を取りまとめ、その時に使える最高の木材を提供する。

長澤紗織設計室 長澤 紗織さん



地元の木のぬくもりに囲まれた家に住んでもらいたいという思いから、地域材で作る家を提案。地域材の魅力を伝え、建主と共に楽しみながら家づくりを進めている。

(有)岩井沢工務所 岩井沢 賢一さん



地元の大工は地元の木で家を立てることが重要という考えの元、10数年前から地域材での建築を行うように。現在は住宅だけでなく店舗の改修にも地域材の利用を進めている。

【問】林政課 ☎626-7541



写真1 市内の豊かな森林資源（中央は栗の木）



写真2 内装に地域材（ヤマザクラなど）を使った店舗

地元の木を流通させる

阿部 岩手県の森林資源は、針葉樹だけでなく、たくさんの種類の広葉樹【写真1】に恵まれているのが特徴です。かつては、その恵まれた地域の木が首都圏に出荷されるばかりで、県内ではあまり使われていなかったですね。

岩井沢 地域材を使い始めた当初は本当に大変でした。仕入れの時に「地元産の木材が欲しい」といっても発注自体を受け付けてもらえないこともあって…。

長澤 地元の木を使って家を立てるという考えがあまりなかったこともあり、その当時、一般的な木材の流通に地域材が着目されることがありませんでした。そのため入手すること自体が困難でしたね。必然的に家造りに地域材を使うことを提案できない状況でした。

阿部 組合としては、その状況を変えるために、要望があればすぐに地域材を出せるようにする取り組みから始めました。結果、今では盛岡市産材が欲しいという注文に、当たり前に応じられるまでになりました。

地域材のここがいい！

阿部 地域材は高いというイメージがありますが、そんなことはありません。岩手にはさまざまな種類の木があるため、柱には杉、梁には赤松などの針葉樹、家具には栗の木などの広葉樹、と適所に適材を活用できます。また、地元で使うことで、輸送コストも抑えられ、より手ごろな値

段で提供できます。

岩井沢 大工は昔から地元の木で家を作ってきたので、地域材の使い方をよく知っています。家の構造材だけでなく、日常的に使う家具や、店舗の内装【写真2】にはどんな木の種類が合うのか提案できますし、加工もできます。地域材を使うときは、ぜひ地元の大工にご相談ください。

長澤 野菜の産地地消と同じで、地域材も安心・安全で安い。これを薦めない手はないと思っています。また、家を作る際に、どこにどの地域の木が使われていると説明をすると建主さんの愛着がより深まり、引き渡しの時には木材に詳しくなる人が多いです。完成見学会などで、建主さんが「この梁は手代森の赤松なんだよ」とか「この棚は玉山の栗の木」など身近な地名を話すだけで、見学している人にも愛着や親しみが伝わります。作り手としても、自信をもってお薦めした地域材の良さが自然と伝わり、それを広めてくれるのは、作りがいがありうれしいです。

地元の木をさらに使う

阿部 1棟の家を地域材だけで建てられるのは森林資源に恵まれた岩手の強み。木材を使うことで、森林の循環につながることや、豊かな環境を知ってもらい、愛着を持ってほしいです。長澤さんや岩井沢さんが提案しているような、地元の木材に囲まれた温かみのある家を当たり前のように建てられるようになったことを本

当にうれしく思っています。

長澤 将来的には、人の集まる公共施設や職場などにもっと地域材を使っていきたいです。そこで木に触れ、そのぬくもりや安心感を感じてもらえれば、今度は自分の家にも取り入れてみたいと思う人が増えるのではないかと思います。

岩井沢 新築に限らず、1部屋だけのリフォームや作り付けの家具【写真3】など身近なところにも、地域材を提案するようにしています。木の種類によって色合いや、堅さ、温かみなど特徴はさまざま。用途に合わせて、たくさんの地域材を提案できるようにになりました。地域材で作ったものを長く使うことで魅力を実感し、それが広まっていく——。この循環をより大きくするために、日々頑張っています。



写真3 地域材（ケヤキ・ナラ）で製作した作り付けの戸棚

木を使ってもっと人を集めたい！

肴町商店街のアーケード内にはぬくもりのある手作りの木製のベンチや机が並び、その脇には木製の本箱も。これらは全て地元の木で作られています。アーケードを通る人たちがその場にとどまり、そこから生まれるにぎわいで商店街をさらに活気づけたいと、肴町商店街振興組合の青年部の皆さんが設置しました。今後は地域材でチェスや将棋なども作り、遊んでもらう予定。アーケードをさらに地元の木でいっぱいにする計画が進行中です。

同組合青年部がこのベンチなどを作

るときに利用するのが、肴町商店街にあるホームセンター2階のDIYスペース「KITENE」。誰でも気軽に利用できる店内には、各種工具や作業台を備え、使う木材は県産材にこだわっています。「せっかく自分で作るなら、地元の材料の方がより愛着が湧く」と話すのは代表の齊藤健吾さん(36)。簡単に作れるキットや木製おもちゃなど、気軽にDIY体験ができます。皆さんも一度足を運んで、地元の木に触れてみてはいかがでしょうか。

机で木製オセロを楽しむ人々(左) DIY体験をした日野丘文海くん(5)(右)

DIYってなんだろう？
Do It Yourselfの略。専門家でない人が自分で何かを作ったり、直したりすることを言います

かっこいい戦車を作ったよ！



地域材の利用をサポートします！

■市産材で住宅を建てると補助金が
住宅の新築・増改築に2立方メートル以上の市産材を使用する場合、使用量に応じた補助金を交付します。上限は1棟15万円まで。完成前に申請が必要です。
【広報 | D】1008273

■店舗の新築・改装にも
店舗の新築・改装で、目に見える部分に市産材を使用した場合、補助金を交付します。上限は20万円まで。完成前に申請が必要です。
【広報 | D】1026570

■県産材でも補助が受けられます
住宅の新築やリフォームに県産材を利用した場合、県から補助金を交付します。利用できる条件や金額などは県公式ホームページをご覧ください。
629-5934へお問い合わせください。

■地域材に興味がある人はこちらから
地域材を利用したいという人は、相談できる設計士・工務店などの情報を提供するポータルサイト「いわて木の家ナビ」を活用してください。



市長コラム

盛岡市長 谷藤 松明

市は、(仮称)新盛岡バスセンターなど、新たに整備される公共施設へ積極的に市産材を活用していく予定です。また、市産材を活用したオリジナルデザインのベンチを岩手大と共同で開発中です。このベンチは、友好都市提携の記念として文京区にも寄贈します。今後も、市産材を中心に地域材を活用した取り組みを進め、盛岡の森を守る、「木づかいのまちもりおか」を目指していきます。